

高森町子ども読書活動推進計画

基本方針

① テーマ

「読む」「調べる」「使える」

② 計画の期間

令和4年度～令和8年度

③ めざす子どもの姿

- ・読むことに抵抗がないこと、自分で本と出会えること
- ・知りたいと思うこと、調べること、調べられること、知ること
- ・本や情報や図書館を使えること、それによって得たものを使えること

高森町立図書館

1 子どもと読書

親子、乳幼児、園児、小学生、中学生、
高校・大学生

3 環境

電子書籍図書館、GIGAスクール、
デジタルコンテンツ、バリアフリー、
きんもくせい号

5 プロジェクト

たかもり読書クラブ「ほんとも」

高森町子ども 読書支援センター

高森中学校・高森南小学校・高森北小学校

2 子どもと情報

親子、乳幼児、園児、小学生、中学生、
高校・大学生

4 人材

「まめおの会」「ぐりとぐら」
「おはなし紙ふうせん」研修

6 連携

保育所、あったかてらす、
資料館、民間、研究機関

高森町教育委員会

Ⅰ，基本方針

Ⅰ－Ⅰ テーマ

「読む」「調べる」「使う」

Ⅰ－Ⅱ 目指す子どもの姿

- ・読むことに抵抗がないこと、自分で本と出会えること
- ・知りたいと思うこと、調べること、調べられること、知ること
- ・本や情報や図書館を使えること、それによって得たものを使えること

Ⅰ－Ⅲ 計画の期間

- ・令和5年度から、おおむね5年間
- ・図書館協議会において定期的な評価を実施し、改正に向けた方向性を見極める

2、組織と役割

2－1 高森町教育委員会

高森町の子ども読書支援全般の統括

2－2 高森町子ども読書支援センター

町内の図書館的資源「物」「人」「場」をつなぎ、公共図書館と学校図書館の協働による効率的、効果的なサービスの実現を目指し、その実践の記録・分析により次期活高森町子ども読書活動推進計画へ接続する

2－3 高森町図書館

資料の収集、整理、保存、提供・活用を軸に、学校や生涯学習関連施設との連携で地域課題・解決のための情報提供等を行い、「高森町立図書館サービス計画」に沿って、あらゆる地域、世代に対するサービスのための環境の整備等を進める

2－4 学校図書館（中学・南小・北小）

「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能をバランスよく運用し、高森町子ども読書支援センターを中心とした各機関との連携により、学校教育に資することができる学校図書館を目指す

2－5 図書館協議会

中期的な子ども読書活動推進についての検討、実施、評価への意見具申し、長期的な高森町の図書館事業発展に寄与する

3, 計画の柱

3-1 子どもと読書

・親子

本を手にするきっかけ、読むきっかけになる場と機会を提供し、読書への入口を増やす、（ブックマルシェ、面展台や本箱等のおうち本棚に関するワークショップなど）

・乳幼児

家庭での読み聞かせを通して親子の絆を深めるための支援（ブックスタート、ブックマルシェ）

・園児

さまざまな本との出会いを通して、豊かな心を育むための支援（セカンドブック、学級文庫、参観日ブックマルシェ、「この本読もう！」等のブックリスト）

・小学生、中学生

読書習慣の形成のための読書機会の提供、読書指導や読書案内を通じた個に応じた本との出会いの場を提供すると同時に、広く流通する様々な書籍・情報に瞬時にアクセスできる環境を整える（サードブック、ビブリオバトル、公共図書館と学校図書館の資料共有と流通、電子書籍、「この本読もう！」等のブックリスト）

・高校生、大学生

町内外の読書資源へのアクセスにより、より広い知見を得ることができるスタート世代と捉えての支援（ブックカフェ、電子書籍）

本を読み、豊かな心を育む 子どもたちとは？

読みたい
と思う

読もう
と思う

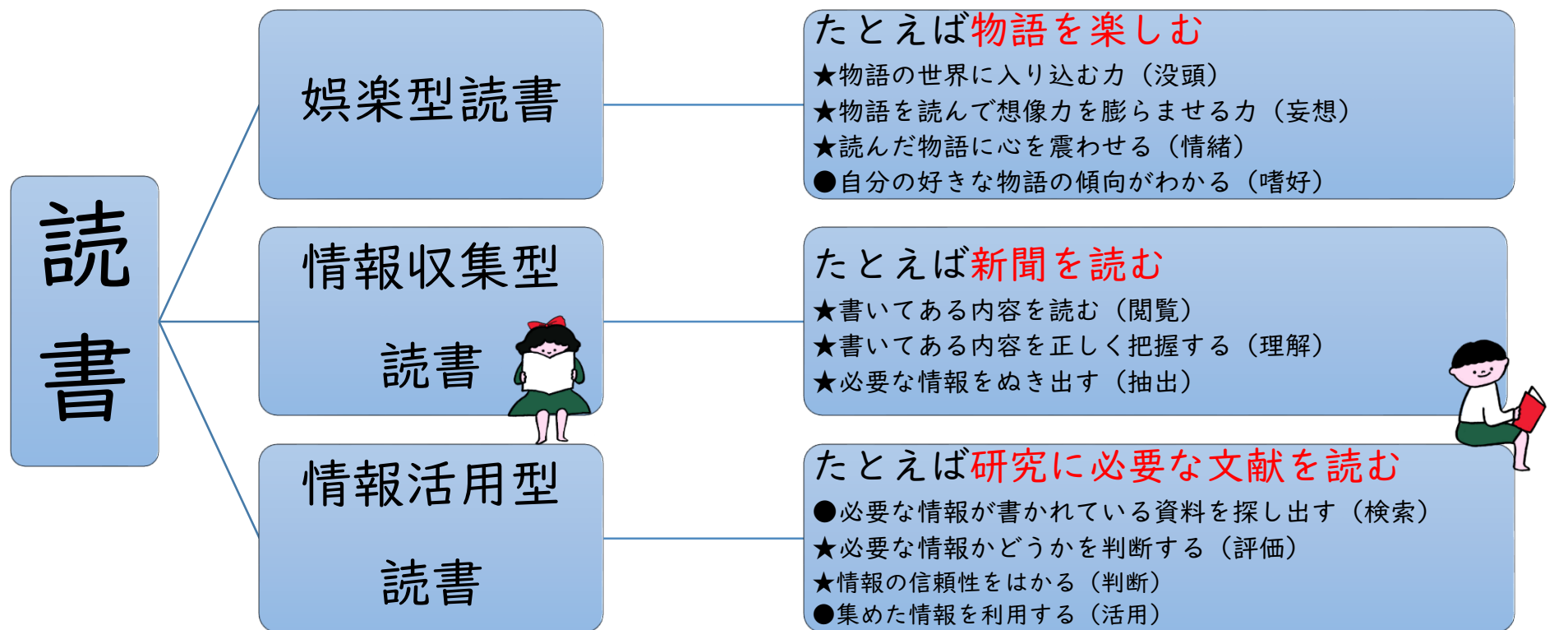
読む

読める

読んで
心が
震える

読んだ
刺激を
糧にする

高森町子ども読書支援センターの 「読書」の捉え



3-2 子どもと情報

- ・親子

正しく安全で適量適正な情報の取得による豊かな生活を体感してもらい、情報活用の必要性と可能性を知ってもらう

- ・乳幼児

好奇心の芽を育てる

- ・園児

自分の興味関心の対象を見つける、知る

- ・小学生

知りたいと思い、調べようと思い、調べ、調べられて知ることができ、知ったことの活用に向けて一連の行動のためのスキル（情報活用能力）を身に着ける

- ・中学生

情報収集の結果を活用し、アウトプットし、自分の生活へフィードバックする基本的な技能を獲得する

- ・高校生、大学生

社会の情報と自分の生活を自らつなぎ、幅広い視点を獲得する

知りたいことを調べ、知る 子どもたちとは？

知りたい
と思う

調べよ
うと思
う

調べる

調べら
れる

知る

知った
ことを
活用する

3-3 環境

- ・高森町子ども読書支援センター

町内の図書館的資源の把握（統計、調査）をもとに、「物」「人」「場」の共有のための調整を行い、「高森町子ども読書活動推進計画」に沿った企画の立案、計画、実行を通じて、目標達成

- ・電子書籍図書館

「高森ほんともWeb-Library」および長野県コンソーシアムによる電子書籍図書館（仮）の運用等により、多様な読書コンテンツの提供を行う

- ・GIGAスクール

小中学校のGIGAスクール環境を最大限に活かし、デジタルコンテンツに関する読書センター、学習センター、情報センター機能の向上と、新たな学校教育における図書館像の構築に努める

- ・デジタルコンテンツ

各種データベースへの接続環境を整備し、デジタルアーカイブへの積極的な参加により、資料の収集、保存、活用につとめる

- ・バリアフリー

読書バリアフリー法に沿って、だれもが読書ができる社会を目指し、子どもたちが幅広い読書を個に合わせて選択できるサービスを展開する（電子書籍・マルチメディアデイジー・リーディングトラッカーやリーディングルーペ・LLブック・多言語対応）

- ・移動図書館車「きんもくせい号」

定期的な運航による読書機会の提供と、図書館のカウンター機能の出張という視点で様々なシーンでの活用を積極的に実施する

3-4 人材

- ・まめおの会

司書としての専門性を高め、情報の共有による組織的な取り組みを意識し、一丸となって子ども読書活動推進を図る

- ・ボランティア（「ぐりとぐら」・「おはなし紙ふうせん」）

子どもたちの読書活動をサポートし、ボランティア参加者にとっても生涯教育の場となるよう定期的な活動と研修を維持する

- ・研修

時代に合わせた知見を常に得るとともに、高森町の子ども読書活動に関する課題を見据えたスキル向上を目指し、継続的な専門職配置を維持する

3-5 プロジェクト

- ・まめおの会を中心に『たかもり読書クラブ「ほんとも」』を立案、計画、実行し、子どもたちと本・図書館・情報をつなぐためのイベントを開催する

- ・有効な広報や啓発活動のための取組みを研究・実践するためのプロジェクトの立ち上げを目指す

- ・その他実情に応じて有効と思われるプロジェクトを臨機応変に立ち上げ、子ども読書活動推進のために活動する

3-6 連携

- ・ 保育所

職員研修への司書の派遣、おすすめ本の紹介、協働事業の展開等、園長会との定期的な連絡会を通じてニーズを読み取り、現場に合わせた読書支援の方向を探り、時代にあった保育所向け読書支援サービスを展開する。

- ・ あったかてらす

乳幼児期の親子と本、図書館、情報の接点の一つとなるよう、絵本の常設、きんもくせい号の有効活用、共催イベント等を展開する。

- ・ 資料館

地域の文化財資料、データ、人材等と本・図書館・情報をつなぎ、学校現場での活用への道筋をつける
デジタル化による資料の活用推進にむけ活動する

- ・ 研究機関

町内外の研究機関からの情報の収集により、図書館の枠を超えた情報提供や人材派遣等につなげる
実践報告等を積極的に提供し、高森町及び他地域、次世代での取り組みの推進に寄与する

- ・ 官公庁、民間

あらゆる情報と子どもたちをつなぐため、適正な情報の所在を幅広く確認し、官民間わずに機会をとらえ、連携を進める

4 - 1 評価指標

対象施策		評価の方法	1、読む	2、調べる	3、使う	評価数値項目	数値R4年
家庭読書推進	ブックスタート事業	保護者を対象としたアンケート結果からの継続状況	配布後の追跡調査	—	関連イベントの開催	読み聞かせを継続している3歳児の家庭	92%
連携施設あったかてらす	読書案内	読み聞かせや本の紹介イベント回数	読み聞かせブックマルシェの開催	—	移動図書館巡回	イベント回数	2回
						BM巡回	24回
学校図書館教育	学校図書館機能の向上	児童生徒の貸出数	貸出数	情報学習の計画と実践割合	図書館の利用数	小学校年間貸出/1人	99冊
						中学校年間貸出/1人	21冊
						情報学習時間	98回
保育園	本との出会いの場づくり	・移動図書館巡回 ・ブックマルシェ開催	貸出数、学級文庫や移動図書館での貸出	—	貸出数 移動図書館巡回数	BM貸出数	2,807点
						イベント開催	10日
読書が困難な子どもへのサービス	読書のバリアフリー	関連施設間の協働	資料の整備 電子図書館の活用	—	利活用案内の実施	マルチメディア・デジタル広報回数	2回
公共図書館	年次ごとの具体的な取組	児童向け資料の充実 児童への年間貸出数 イベント開催	資料の充実と、読み聞かせなど、読書に親しむ環境づくり	利活用のためのPR、イベント開催	図書館利用グループ「ほんとも」の充実と継続	児童向け資料数	27,800点
						児童書の貸出数	52,000点
						イベント回数	49回
ボランティア連携	ボランティア育成	実演と研修会開催	ボランティア活動への参加	—	ボランティアのあり方確認	実演回数	40回
						研修回数	12回